

西郷 広報

9月 1日

平成18年(2006)

No.429

—毎月1日・発行—

■源流の郷西郷ふれあい交流事業……2～3

■災害時の支援協力協定書……4

Main Contents



富士山頂へ到達！

西郷・白河・少年ゆめ一斉養成研修事業(8月2・3日)

魅力発信！源流の郷 西郷ふれあい交流事業



▶沿道の花を見ながら元気良く！

七月二十三日、甲子高原において「源流の郷わくわく健康ウォーキング」が行われました。

平成二十年の国道二八九号甲子トンネル開通に向けて、県南、会津、栃木県の交流を促進し、村のシンボルスポーツのウォーキングを普及させるのが目的です。

キヨロロン村ねころんぼ広場をスタート・ゴールに甲子トンネル折り返しの10kmコースと阿武隈川溪流沿いの新甲子遊歩道5kmコースに分かれ、参加者は、緑豊かな甲子高原の自然を満喫していました。

ねころんぼ広場では、ふれあい交流祭として、地場産品の販売や西郷村と下郷町のそば打ち競演が行われました。

当日は、時折太陽が顔を出す絶好のウォーキング日和となり、家族連れや友達同士心地よい汗を流していました。

ゴール後、甲子温泉一泊二日のペア宿泊券等、豪華景品が当たるお楽しみ抽選会が行われました。



▲いざ！出発



▲準備体操は、しっかりと



▲森林浴を楽しみながら



▲歩いたあとは美味しいね

アトラクションの部

村内外からの参加者を歓迎し、数々のアトラクションが催されました。地元からは、ふるさと踊り保存会、コーラス西郷、西郷バトントワリング、太極拳クラブ、下郷町からは、三志大神楽保存会、大川溪流太鼓保存会、白河市からは、表郷和太鼓愛好会の皆さんが出演しました。



▲西郷村ふるさと踊り保存会の皆さん



▲太極拳クラブの皆さん



▲表郷和太鼓愛好会の皆さん



▲コーラス西郷の皆さん



▲三志大神楽保存会の皆さん



▲西郷バトントワリングの皆さん



▲大川溪流太鼓保存会の皆さん



はつらつプレーが続出！！

第一回西郷ふれあいカップ 中学生親善野球大会開催

西郷ふれあい交流事業の一環として中学生親善野球大会が七月十六日、西郷村民野球場で開催されました。地元と白河市、棚倉町、那須町、南会津町から総勢八チームが参加し、熱戦を繰り広げました。当日は午後から小雨模様となりましたが、各チームとも全力でプレーしていました。

試合の結果は、優勝は南会津町の田島中学校。準優勝は、棚倉町の棚倉中学校。第三位は、那須町の那須中学校と西郷第一中学校でした。

災害時の被災者への

支援協力協定書に調印

西郷村とジャスコ白河西郷店は、大規模災害時における防災協力協定書を結びました。

災害発生時にジャスコ白河西郷店敷地を被災者の避難場所として活用するほか、全国的な組織を生かし、被災者の食料など生活物資の調達に関する内容となっております。



ジャスコ白河西郷店と 災害時の支援の協定

協定書の調印式は、七月二十六日村長室で行われ、佐藤正博村長とジャスコ白河西郷店の秀方純店長が協定書に調印を行いました。

協定では、大規模な災害が村内で発生し、多くの被災者が生じた場合、ジャスコ白河西郷店の広大な駐車場を避難場所として提供します。

また、食料、飲料水、毛布など被災者への生活物資を円滑に提供できる体制を整える内容となっております。

村は、地域防災計画に基づいて、住民の生活を守るため、食料、飲料水等の確保に努めるとともに災害発生時における応急活動を行わなければならない。今後、必要に応じて地域住民の非常用食料の備蓄を行うとともに食料保有業者等と食料や生活物資調達に関する協定を随時行っていく。

防災月間と防災意識

九月は、防災月間です。そして九月一日は、防災の日です。この日は、大正十二年九月一日に起こった関東大震災の惨事を教訓とし、防災意識を高めようとして定められた日です。

災害は、決して他人事では済まない問題です。もう一度防災用品の確保や非常持出品などの点検をしてください。水害、台風、土砂災害など自然災害は数多くありますが、

その中でも地震は、私たちの生活を突然襲う恐ろしいものです。

地震が起きると、地盤が大きく揺れ、地滑り・山崩れ・落石などが発生します。

また、建物の倒壊やライフライン（ガス・電気・水道・電話・交通など）が寸断されるといった災害や火災など発生することもあります。

さらに根も葉もない噂から動揺した人たちの間でデマが流れパニックに起きるなど、二次的災害を誘発して、被害をいっそう大きくする可能性があります。

噂やデマに惑わされず、携帯ラジオや防災行政無線などの信頼できる情報により、近所の人と一緒に落ち着いて行動しましょう。村では、災害時における的確な情報を伝達するため、村内各所に防災行政無線屋外スピーカーを九基設置し、各家庭をはじめ避難所となる学校、公民館、事業所等には防災行政無線個別受信機を設置しております。

西郷村中学生海外派遣団

中国天津市薊県を訪問

西郷村人材育成基金運営委員会委員長越前六郎氏を団長に、村内の中学生二十一人と引率七人を合わせた総勢二十八人が、本村と国際友好都市を締結している中国天津市の薊県を訪問しました。



▲薊県人民政府の歓迎式典

中学生の国際交流

村と薊県で国際友好都市を締結して以来、親善友好の交流を深めている「中学生海外派遣事業」も今年で十回目を数えました。

今回は、八月十三日から八月十七日の四泊五日の日程で行われました。訪問中は、薊

県第一中学校の生徒宅の訪問や演奏、合唱などを披露しあい交流を深めたり、天安門広場、故宮、万里の長城を見学しました。オリンピックを二年後に控えた北京市は、故宮など様々な箇所修復作業が行われ、建築中の「オリンピックメイン会場」もバスの中から見る事ができ、別名”雀の巣”と呼ばれる様子が良くわかりました。

また福島県上海事務所を訪問し、安達和久所長から事務所の役割や上海市の概要などの説明を受けました。十七日には、全員無事帰国し、出迎えの父兄や先生たちに元気な姿を見せました。帰国報告会では、佐藤村長に中国の印象や生徒それぞれが感じたこと、また体験したことを報告しました。



▶北京「故宮」



▲福島県上海事務所



▲八達嶺万里の長城



▶薊県「独楽寺」

西郷村の食育の推進に向けて



昨年は食育基本法が成立し、今年三月には食育を具体的に推進するために食育推進基本計画が作成されました。こういった国の施策を背景に村では昨年「西郷村食育推進委員会」を立ち上げ、学校における食育を中心とし、村全体で食育を推進する取り組みを行っています。

次代を担う西郷の子ども達

いつの時代でも子どもはこの上ない宝です。村教育委員会では、教育行政基本目標として、自立と共生を理念に「可能性とかかわりと生きがい」を大切にしたいと「生きる力を育み、可能性を実現する学校教育・幼稚園教育」を推進する中で、「健康と生命の大切さ」を学ぶ学校安全・保健・給食の充実に取り組むこととしています。

食育推進事業の取り組み

村では本年度、文部科学省より「栄養教諭を中核とした学校・家庭・地域の連携による食育推進事業」として食育事業の委嘱を受けています。食育を進める上で、学校においては授業と学校給食が中核となります。食に関する授業については、学校栄養職員（栄養教諭）を中心として年間160時間に及ぶ食育の授業が計画的に実践されています。又、給食という生きた教材を通して食に関する指導ができる最高の場であるとの考えに立って、様々な創意工夫がされています。とはいえ、学校給食は一日の食事の一回です。子ども達の健康を考え、望ましい食育を実行するには、家庭と地域が連携した地域を向いた事業推進の中でこそ子ども達に食に対して興味や力をつけることができることから、テーマ「一人一人が自分の健康を考える児童生徒の育成」といたしました。



また、家庭・地域全体にむけた効果的、継続的な啓発活動を進めるため、具体的な食育推進事業としては、

- 地場産物を利用した料理コンクール
- 「一食分の料理コンクール」
- 「親子料理教室」（写真参照）
- 地場産物の取り入れや米粉パンの導入

● アレルギーや肥満傾向児への対応などがあげられます。



さまざまな視点から子ども達の健康を考えた食育を推進してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

特色を生かしたマクロビ給食

マクロビオテックは日本食の知恵を活かした健康食のことです。

- ① 健康食として評価の高い和食を中心とした献立とし、米飯給食を拡充し、子ども達が「食の恵みに気づき、感謝の思いを大切に」する「心の育成をめざします。
- ② カルシウムやビタミン不足や脂質の過剰摂取、朝食欠食など子ども達の課題解決に向け、食べさせたい給食へ移行します。
- ③ 顔がわかり、心のこもった地域食材の積極的な導入など、「みんなで見守り、みんなで育む」西郷村の人づくり食育・給食の視点から一層推進します。

さまたまな視点から子ども達の健康を考えた食育を推進してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

こんな子育てを目指したい・・・



▲幼児健診の1コマ

連日、テレビ、新聞等で痛ましい児童虐待の、ニュースが報道されていますが、子どもの虐待は、どの家庭にも起こり得ます。子育てする中で生じる不安や寂しさ、家族間でのストレス等、些細なことが虐待の引き金になることもあります。子どもたちが生まれてきて良かったと感じ、いつも笑顔の絶えない明るい家庭を築くために一人ひとりの意識が大切です。

西郷村「子育て宣言」

- ・ あいさつ、返事をし合える親になります。
- ・ ほめる、叱ることができる親になります。
- ・ 「感謝すること」を子どもと共に実感できる親になります。
- ・ 子どもの安全と安心のために汗をかける親になります。
- ・ 社会のルールと命の大切さを教え、導く親になります。
- ・ 子どもの可能性を引き出し、幸せを喜び合える親になります。
- ・ 家族としての喜び、家庭の良さを実感してもらえる親になります。



▲代表者による「子育て宣言」

七月十四日西郷村商工会館において、西郷村「子育て宣言」の宣言式が行われました。これは子どもを授かったときの感動と子育ての大切さを忘れず、みんなで協力して健やかで、たくましい子どもたちを育てていくのが目的です。



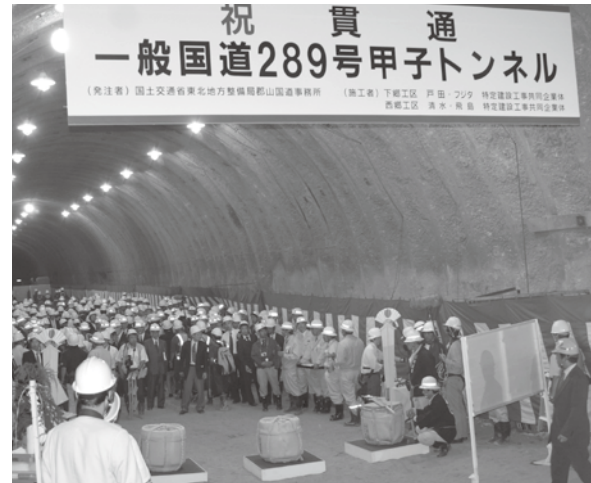
▲家庭と学校、地域の連携が重要です



平成二十年度開通する
国道二八九号甲子トンネル
の貫通式が行われ、国土交
通省をはじめ関係機関の代
表や工事関係者など、来賓
約三百八十人が出席しまし
た。渡部恒三国会議員や県知
事、村長らが最後の発破を
行い貫通を祝いました。



▲貫通発破のスイッチを押す村長



▲▶貫通を祝いたるみこしが担ぎ込まれ鏡開きで祝杯

西郷村と下郷町を結
ぶ甲子トンネルは、標高
一五四九呎の甲子山を貫く、
全長四千三百四十五呎のト
ンネルで、二年後の開通に
より経済、文化、医療など、
さまざまな面で大きな効果
が期待されています。



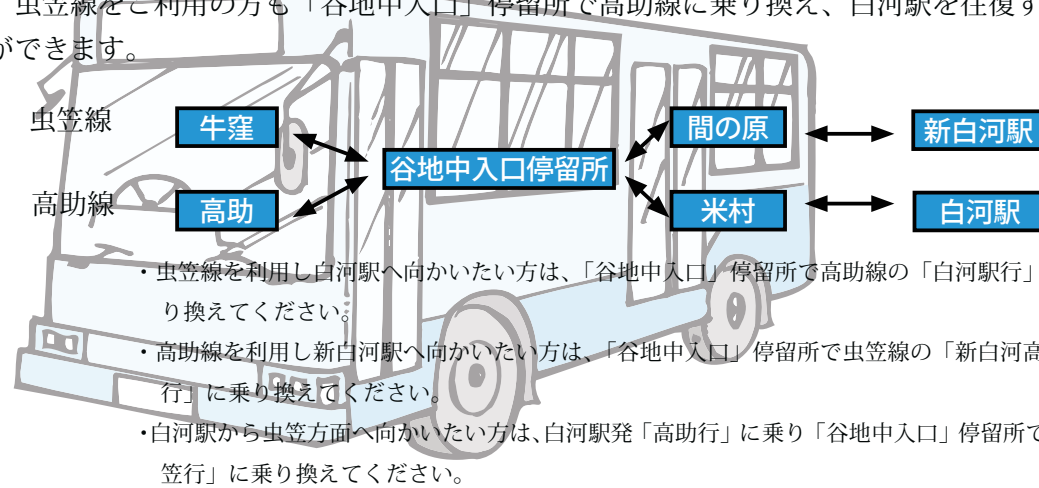
国道289号 甲子トンネル貫通！

南会津地方と県南地方を結ぶ国道二八九号甲子トンネルの貫通式
が、八月四日真船地区の西郷トンネル内で行われました。

バスの乗り継ぎが便利になります

平成18年10月1日より、新白河駅高原口発着路線の待ち時間が10分程度で乗り継ぎ
ができるように、一部の便の時間を変更します。

高助線は、7:15 高助発が白河駅直通となり、白河駅発 12:43 高助行が増便されます。
虫笠線をご利用の方も「谷地中入口」停留所で高助線に乗り換え、白河駅を往復するこ
ができます。



新しい時刻表を各戸配布しますので、保存してご活用ください。また、新白河駅高原口の
バス乗り場にベンチを設置いたします。ぜひバスをご利用ください。

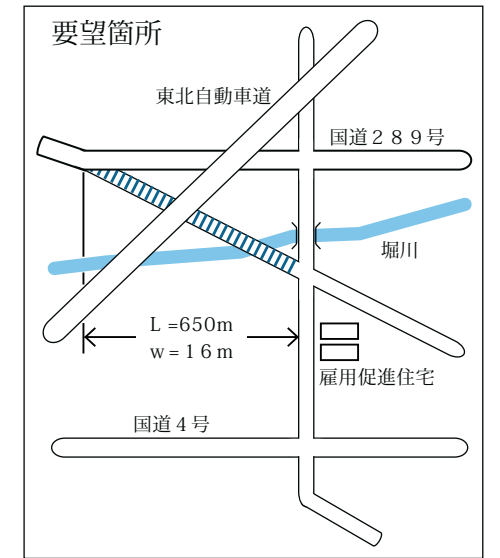
【お問い合わせ】西郷村企画調整課 TEL 25-2943

議会活動報告

～総務常任委員会が防衛施設庁へ陳情～



▲▼木村防衛庁副長官に要請書提出及び事業説明



先般、総務常任委員会（石
井美治郎委員長）が、白河布
引山演習場周辺整備事業の一
環として、村道西郷・搦目線
の道路改良事業採択を要請し
ました。この日は、佐藤村長
にも同行を願い、総務常任委
員全員により、岩城光英参議
院議員の案内で防衛施設庁を
訪問、木村太郎防衛庁副長官
および北原巖男防衛施設庁長
官に会い、村長より現状説明
のうえ事業採択について要請
書を提出しました。



木村太郎副長官は、青森県
出身ということもあり親しく

話し合いができました。
また、北原施設庁長官は平
成十三年九月の白河布引山演
習場での誤射事件で本村にも
来たことがあり、当時のこと
を懐かしくお話されておりま
した。



▲北原防衛施設庁長官に要請書提出



▲木村防衛庁副長官と記念撮影

おじいちゃん、おばあちゃんが子どもや孫達と一緒に楽しむ「三世代ゲートボール大会」が追原ゲートボール場で行われました。地区毎に三世代でチームを編成し、初めて体験する子ども、おじいちゃんやおばあちゃんに、おしえてもらいながら競技していました。その結果優勝は上羽太チーム、準優勝は折口原チームでした。

三世代でゲートボールを



7/29

真剣に自分の将来を考えている独身者に出逢いの場を提供する「出逢い&ふれあいの会」がグランディ那須ゴルフクラブで開催されました。自己紹介で始まり、食事を楽しみながらのフリートークやビンゴゲーム等大変盛り上がり、7組のカップルが誕生しました。カップルは、夕日が沈むゴルフ場を散歩していました。

7組のカップル誕生



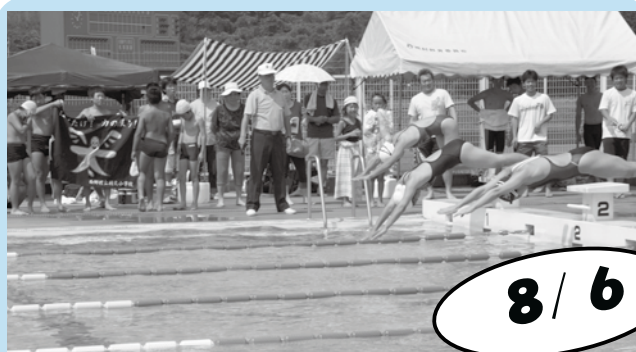
8/6



7/22

森と湖に親しむ旬間

国交省や林野庁が展開している「森と湖に親しむ旬間」として堀川ダム祭りが行われました。ダムの重要性を知ってもらうのが目的で、ダム施設を一般に開放し、多くの来場者がダム堤体のトンネルに入り、真夏でも涼しい最深57mを体験しました。また管理所前の広場では、わたあめやポップコーン、ポテトまんじゅうの販売やスマートボール、水ヨーヨー釣りが出店し、子どもの人気を集めていました。



8/6

新記録が続出！

第24回村民水泳大会が、村民プールで開催されました。この日は天候にも恵まれ、水温27度と絶好の水泳日和となり、小学生、中学生、青年、一般の部の男女に分かれ、タイムを競いました。プールサイドでは、家族や友達が大きな声援をおくり、選手の皆さんは、普段の努力が実を結び、数多くの新記録が生み出されました。

食べて！踊って！ゲームに参加して！暑い夏をみんなで楽しもう！をテーマにと8月5日甲子の里希望の家で、「甲子の里福祉会”和”フェスティバル」が開催されました。今回は、日常の作業風景とあわせてご紹介いたします。



▲この日のために一生懸命練習したYOSAKOIを力いっぱい披露



▲多くの出店にお客さんも大にぎわい



▲乗馬にも挑戦



▲日常の紙仕切組み立て作業



▲日常の巻き尺組み立て作業



8/10

梅干しで眠気をさましてね！

暑いこの時期、車を運転する方に安全運転を呼びかける「交通安全目の覚める運動」が国道4号線の白河検問所で行われました。村長、助役、教育長をはじめ西郷村交通安全対策協議会の皆さんによって、梅干しや安全祈願ダルマ、ガムなどが配られ「梅干しで眠気を覚まし安全運転を」と呼びかけました。都会からの帰省客は、思わぬプレゼントにビックリ！安全運転に努めると話していました。

環境揭示季

「水は 生命の源です」

水は、私たち人間はもとより地球上のあらゆる生物にとって欠かすことができません。また、私たちの毎日の暮らしや農業、工業などの産業を支える重要な資源です。私たちはいろいろな面で水と深い関わりを持っています。しかし、この大切な水もけっして豊富ではなく、いまや限りある貴重な資源となっています。

日本人は、昔から豊かな水と緑の自然を大切に扱い、上手に付き合ってきましたが、いつ頃から自然や川への思いが失われしまいました。急激な開発等により始まった川の汚染が、人々の川離れを助長することになってしまいました。

川離れや川の水が汚れるのを嘆く前に、自分にできることは何かを考え、思いやりをもつことが大切です。

川の自然と共生するために私たちは、身近なところでできる川への愛情ある思いや行為の一つひとつが川と自然をよみがえらすことにつながります。

魚が住めるようにするためにはこれだけの水が必要となります。

(風呂おけ 1 杯 300 リットル)

汚れのもと () 内の量を捨てたら	魚が住める水質 (BOD:5mg/リットル) にするために必要な水の量は風呂おけ何杯分
牛乳 (200ml) 	10 杯分 (3,000 リットル)
しょう油 (15ml) 	1.5 杯分 (450 リットル)
みそ汁 (200ml) 	4.7 杯分 (1,410 リットル)
米のとぎ汁 (2,000ml)	4 杯分 (1,200 リットル)
天ぷら油 (500ml)	330 杯分 (132,000 リットル)

生活習慣病の予防

生活習慣病は、加齢とともにだれにでも忍び寄る問題です。ウォーキングの運動で脂肪を燃焼させ、血液の循環を良くし、心身ともに活力に満ちた若々しい体を維持し、病気を近づけないようにしましょう。

サイドウォーキング

サイドウォーキングとは、歩くときに身体を左右にひねりながら、お腹を軽く引き上げカカトから着地する歩き方

西郷村シンボルスポーツ

健康
ウォーキング



シリーズ⑰—

「ウォーキングならではの生活習慣病の予防」

私達は、日々「生活習慣病」の情報の渦の中にいます。耳にたこが出来るぐらいうんざりしていませんか？食事に気をつけなさい、適度な運動をしなさいなどと・・・
私達は身近に病人が出ないかぎり、実感がないものです。

健康ウォーキング事業予定

九月十七日(日) 午前七時

堀川ダム管理センター集合

十一月十九日(日) 午前七時

下羽太集落センター集合

十二月十七日(日) 午前九時

大平アメニティー集合

■お問い合わせ

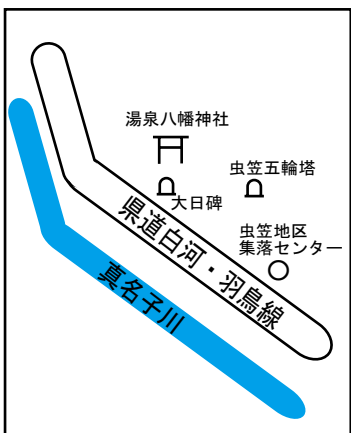
生涯学習課・健康推進課

です。お腹を左右に動かすことで、お腹周りのぜい肉に負荷がかかり、生活習慣病の敵「脂肪」を落とすことができます。また、お腹をひねることにより、腸が活発に動き「便秘」に効果があります。必ず左右往復で行ってください。片側だけでは、体のバランスが悪くなります。さらに横歩きにより腰の筋肉が強化され、腰痛防止にも最適です。

にしごうの神社

第23回

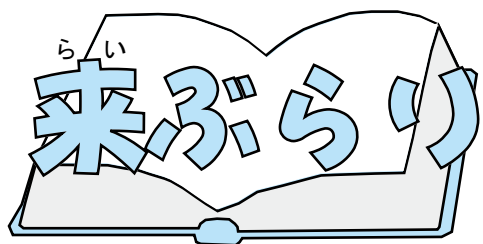
湯泉八幡神社 (前編)



県道白河・羽鳥線で羽鳥方面に向かい、虫笠の集落を抜け、右側の丘陵にあるのが湯泉八幡神社です。文化二年（一八〇五）に編纂された『白河風土記』によると、「湯泉八幡宮」とあり、別当は第九・十回で紹介した姥神社と同じく、稲生寺となっています。また、「處ノ鎮守」と書かれており、虫笠村の鎮守であったことがわかります。

湯泉八幡神社は栃木県那須郡内に八〇社ほどあり、総本社は栃木県那須町湯本にある温泉神社です。元禄二年（一六八九）に松尾芭蕉と弟子曾良がこの神社に参詣しており、曾良の書いた日記によると、「湯泉大明神の相殿に八幡宮を移し奉りて」とあり、温泉神社に京都の石清水八幡宮が合祀されたことが伺え、このことから湯泉八幡神社となったものと思われます。温泉神社は六三〇年に狩野三郎行広が発見したと伝えられ、「扇的」で有名な那須与一宗隆が『平家物語』のなかで、矢を射る際に祈願した神の一柱でもあります。

また、岩瀬郡天栄村の岩瀬湯本温泉にも湯泉八幡神社があり、こちらは九世紀初めに創建されたといわれています。今回は境内に祀られている石造物についてです。



西郷村中央公民館図書室だより

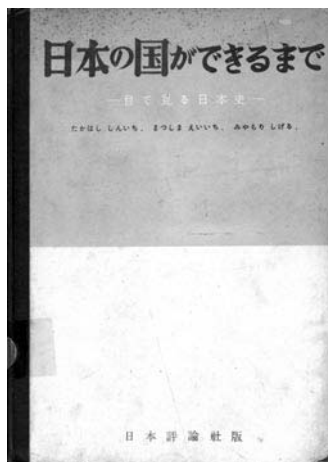
人見文庫について

平成十年に、本村出身で、全国歴史教育研究協議会顧問などを歴任された人見春雄さんから約四千冊の図書を御寄贈いただきました。村では「人見文庫」として図書室に収蔵しています。人見さんは世界史の先生ということもあり、国内はもちろん中国や朝鮮等の東アジアの歴史関係の書籍が多数あり、なかには現在では手に入らないような歴史資料としても価値の高い書籍もあります。今回はその中の一冊を紹介いたします。

「日本の国ができるまで」

松島栄一他著・吉田悟郎編・日本評論社刊

この本が出版されたのは昭和二五年で、戦後まもなくのことです。この本の「はじめに」では、「とくに、少年少女諸君へ」として、「わたしたちは、できるだけ正しい歴史を理解しなければなりません。」とあり、これは巻末の「この本ができるまで」の冒頭に「我が国の歴史教育において、真に正しい、(中略)国家の歴史を知ることはいかなる不可能なこととされてきていた。」とあり、前時代の偏った歴史観にもとづいた歴史教育の反省から作られたものであることが分かります。内容については図や写真を多く使い、現在の歴史教科書の原点ともいべき図書です。



各課直通電話番号

課局室名	電話番号	課局室名	電話番号
総務課	25-1112	企画調整課	25-2943
税務課	25-1113	下水道課	25-2912
住民生活課(住民生活安全)	25-1114	会計室	25-2934
行政サービスセンター	25-2197	議会事務局	25-2980
健康推進課(保健・国保)	31-2237	農業委員会事務局	25-2946
(地域福祉・高齢者福祉・介護保険)	25-1115	西郷村土地改良区	25-1116
包括支援センター・在宅介護支援センター	25-3910	学校教育課	25-2370
商工観光課	25-5121	学校給食センター	25-1256
農政課	25-2910	生涯学習課	25-2371
建設課	25-1116	水道事業所	25-2962
	25-1117		
	25-1118	代 表	25-1111

●歯科医 休日当番日

9. 3	五十嵐 歯科 医院	(白河市)	☎ 23-3473
9.10	岩 谷 歯 科 医 院	(矢吹町)	☎ 42-4363
9.17	海 野 歯 科 医 院	(西郷村)	☎ 25-7474
9.18	かたの 歯 科 医 院	(白河市)	☎ 22-8833
9.23	河 島 歯 科 医 院	(白河市)	☎ 23-2739
9.24	国 馬 歯 科 医 院	(矢吹町)	☎ 45-2781

●小児科医 休日当番日 (白河地区)

9. 3	関 根 医 院	(白河市)	☎ 27-3060
9.10	樋口小児クリニック	(矢吹町)	☎ 42-2040
9.17	みうら小児クリニック	(白河市)	☎ 28-1001
9.18	わたなべ子どもクリニック	(白河市)	☎ 21-2166
9.23	おかざきクリニック	(白河市)	☎ 23-2551
9.24	岡崎小児科内科医院	(白河市)	☎ 23-7811

●内科医 休日当番日 (白河地区)

9. 3	くにい増見クリニック	(白河市)	☎ 46-2258
9.10	クリニックおおまち	(白河市)	☎ 23-1110
9.17	佐藤循環器科内科クリニック	(白河市)	☎ 24-2311
9.18	城 南 医 院	(白河市)	☎ 22-3541
9.23	すずき内科クリニック	(白河市)	☎ 24-4114
9.24	鈴木ホームクリニック	(白河市)	☎ 31-8181

※電話案内 しらかわ救急情報センター ☎ 23-9909
(看護師が電話にて当番医の紹介や当番医以外の専門医等の紹介や場所の案内をします。)

●今月の納税

国民健康保険税 (3 期)
介護保険料 (3 期)
10月2日 (月) までにお納めください。
※納税は便利な口座振替で

お知らせ

農業担い手の皆様へ

農業事業者の減少や高齢化が進む中、意欲と能力のある農業の担い手を対象に麦・大豆・米の作付け者に対し、支援対策が導入されます。

秋まき麦作付者に対し、9月1日より11月30日まで加入手続きが開始されます。

また、米・大豆の作付者は、平成

19年4月より加入手続きを取られるようお知らせ致します。

なお、詳しい内容については、左記まで問合せてください。

■問合せ

福島農政事務所地域第四課(白河合庁)

☎ 2 2 ― 1 2 4 1

消費者の皆様へ食品表示が変わります

これまで、すべての生鮮食品と、一部の加工食品だけに原材料の原産地表示が義務づけられていました

2006下水道ふれあいプラザ

●日時 9月10日(日) 下水道の日
10時～15時

●会場

ヨークベニマル白河昭和町店頭

●内容

下水道なんでも相談コーナー、お楽しみ抽選会など

■問合せ 下水道課



第57回全国労働衛生週間 (10月1日～7日)

「疲れてませんか 心とからだ みんなでつくろう 健康職場」をスローガンに展開します。事業主や労働者自身が職場等労働環境をみつめ直し、健康増進のための活動への積極的な参加や健康的に働ける職場づくりに努めましょう。

■問合せ 労働領域労政グループ

☎ 0 2 4 ― 5 2 1 ― 7 2 9 7

西郷村木造住宅耐震診断者派遣事業

この事業は、昭和56年5月31日以前に建築された西郷村に建つ木造住宅について、耐震診断を行う建築士等を派遣して耐震診断することにより、住宅の地震に対する安全性の確保・向上を図り、震災に強いまちづくりを推進することを目的とした事業です。

●対象家屋

- ①建物所有者が自ら居住する住宅で、建物の建築工事の着手が昭和56年5月31日以前にされた戸建て住宅です。
- ②在来軸組工法、伝統的工法、枠組壁工法等による木造3階建て以下の在宅です。
- ③過去に、この要綱に基づく耐震診断を受けていない住宅です。

※上記の3点いずれにも該当している必要があります。

●申し込み方法

西郷村役場建設課またはジャスコ白河西郷店内西郷村行政サービスセンターに備え付けてあります、「西郷村木造住宅耐震診断者派遣申込書」に必要事項を記入のうえ、下記の期限までに西郷村建設課まで提出してください。(その他、詳しい内容は下記まで問合せください。)

●申込み期限 平成18年10月31日

■問合せ 建設課 (管理係)
☎ 2 5 ― 1 1 1 7



「救急の日」・「救急医療週間」

毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間を「救急医療週間」と定められています。

▼西郷村(人口約20,000人)に救急車が1台です。

救急車は適時適切に使いましょう。

▼いざ、その時のためにあなたの目の前で倒れた人を救う、「心肺蘇生法」を学びましょう。

▼白河消防署西郷分署では、救急法を指導しています。詳しくは左記まで問合せください。

■問合せ 白河消防署西郷分署

☎ 2 5 ― 2 5 3 4

外国人登録記載事項証明書 発行について

外国人登録事務の電算化により、8月1日からジャスコ白河西郷店内の行政サービスセンターでも外国人の記載事項証明書の発行ができるようになりました。ただし、記載事項変更届があったときは、その日に発行できない場合もあります。

行政サービスセンターでは平日、土日(年末年始の休日、祭日を除く)

の10時から6時30分まで取扱ますので、ご利用ください。

なお申請時には必ず外国人登録証、印鑑をご持参ください。

■問合せ 住民生活課

行政サービスセンター

パロマ製瞬間湯沸器をご使用の方へ

昭和55年4月から平成元年7月までに製造した、半密閉式瞬間湯沸器のうち4機種について、これまでに排気ファンの作動不良により一酸化炭素中毒事故が発生していました。この4機種に類似の3機種を含めた7機種については、パロマに点検を依頼してください。

該当製品の機器型式一覧	
PH-81F	PH-82F
PH-131F	PH-132F
PH-101F	PH-102F
PH-161F	

※パロマの点検・修理が完了するまでは、当該機種の使用をお控えください。

■問合せ パロマお客様相談室

☎ 0 1 2 0 ― 3 1 4 ― 5 5 2

防災無線の設置はお済みですか？

村では、全世帯に防災行政無線（個別受信機）の設置を進めています。これは、災害時の被害を最小限に食い止めるため、村民のみなさんに警報や避難勧告等の伝達、災害現場からの情報収集や指示伝達を行うものです。

また、平常時には、村広報活動の情報伝達などを行っていています。

まだ設置されていない方は、企画調整課までお申し込みください。



■問合せ 企画調整課

農地の権利移動および転用

農地の権利移動・転用には許可が必要です。

・お互いの農地（田・畑）を交換したとき（農地法第3条）

・農家の方が耕作する目的で、他の人から農地を求めるとき（農地法第3条）

農業委員会の許可を得て移転登記の手続きが必要です。

・自分の農地に住宅・事務所・工場などを建築し、農地以外に利用するとき（農地法第4条）

農業委員会の承認を受けて県知事の許可が必要です。また、許可を受けた後、地目変更の登記手続きも必要となります。

・農地を求めて住宅・アパート・事務所を建築するなど、農地以外に利用するとき（農地の使用貸借の権利設定も含みます。）（農地法第5条）

農業委員会の承認を受けて県知事の許可が必要です。また、許可を受けた後、所有権及び地目変更の登記手続きも必要となります。

※詳しい内容については左記まで問合せください。

■問合せ 農業委員会事務局

終戦当時の海外引揚者やそのご家族の方々へ

税関では、海外からの引揚げの際にお預かりした次の通貨・証券などをお返ししています。

○終戦後、外地から引揚げてこられた方が、外地の集結地において、総領事館などに預けられた

●基調講演

・講師 渋川恵男氏

（会津若松市・渋川問屋社長）

・テーマ

「地域連携による活性化」

●パネルディスカッション

「どう生かす県南・会津を結ぶ新ルート」

・コーディネーター 鈴木浩氏

・パネリスト

西郷村長・下郷町長ほか

●参加料 無料

■問合せ 商工観光課

保育サポーター養成講座

保育サポーターとは、お子さんを預かったり、幼稚園等の送り迎え等を行い、子育て中の家族を支援するものです。

子育てを終えた方や保育士の資格を持つ方など、子どもが好きで子どもに関わる活動をしたいと思っている方が対象です。

●日時

9月27日(水)・10月4日(水)・10月11日(水) 10時～16時

●場所 郡山市中央公民館

郡山市麓山1―8―4

●受講料 4,000円

●受講申込み 9月13日～15日

（定員40名になり次第締切）

■問合せ・申込み

（財）21世紀職業財団福島事務所

☎024―522―3030



精神障がい者家族教室

精神の障がいを持つ方（主に統合失調症の方）のご家族を対象に勉強会を行います。

今年度も「県南保健福祉事務所」と「生活支援センターころん」の共催により、4回コースで行います。

●日時 第1回 ※終了致しました。

第2回 9月20日(水)

第3回 11月22日(水)

第4回 12月13日(水)

（各日13時30分～15時30分）

●場所・申込

生活支援センターころん

■問合せ

県南保健福祉事務所 障がい者支援チーム

☎22―5649

生活支援センターころん

☎54―1115

証券などのうち日本に送還されたもの

○上陸地の税関、海運局に預けられた通貨・証券など

※返還の申し出は、預けられた方ご本人はもとより、ご家族の方でも結構です。お心当たりの方は、左記まで問合せください。

■問合せ 小名浜税関支署

☎0246―92―5151

相談

司法書士無料法律相談

土地・建物や会社の登記のほか、遺産相続や高齢者の法律相談、少額の貸金や借金を巡るトラブルなどの相談をお受けします。

また、土地家屋調査士・行政書士による土地の境界や役所の許認可手続き、公証人・社会保険労務士による遺言や年金などの相談もあわせて行います。

なお、相談は個別に行い、秘密は厳守されます。

●日時 10月1日(日) 10時～15時

（時間予約可能）

●場所

白河市高山コミュニティセンター（新白河跨線橋脇のグラウンド内）

■問合せ 原田事務所

☎22―3256

ニート支援「巡回相談会」

県では、ニートの悩みに関する「巡回相談会」を開催します。相談は無料で、予約が必要です。詳細については問合せください。

●日時 9月26日(水)

●場所 県南保健福祉事務所

■予約・問合せ

福島県商工労働部雇用対策グループ

☎024―521―8209

教室・講演・講座

貫通記念地域連携フォーラム

平成二十年のトンネル開通を記念すると同時に、地域活性化にどう生かすか、これからの広域連携のあり方等を一緒に考える機会としてフォーラムを開催します。

●日時 9月24日(日) 13時

●場所 国立那須甲子青少年自然の家「エコルーム」

◎各統計調査のご協力をよろしくお願いします。

総務省統計局 ☎03-5273-2020
http://www.stat.go.jp/
西郷村役場企画調整課 ☎25-2943

平成18年事業所・企業統計調査

10月1日現在の事業所・企業について調査を行います。全国すべての事業所・企業が調査の対象です。

この調査は地域のまちづくりをはじめ、交通対策、環境対策、防災対策など様々な対策の重要な基礎資料として活用されます。

9月下旬から調査員が調査票を持って皆様の事業所をお訪ねいたします。調査員は「調査員証」を必ず携行しています。どうぞご協力ください。



わかります 暮らしと社会の 未来地図

平成18年10月20日現在で 社会生活基本調査を実施します

全国から抽出された約8万世帯を対象に、1日の生活時間の配分やインターネットの利用、学習・研究、ボランティア活動、スポーツ、趣味・娯楽、などの生活行動について調査します。

その調査結果は、国民生活の向上を図る各種行政施策を立案する際の基礎資料となります。

※調査の対象となる世帯には、統計調査員が伺い調査票の記入をお願いしますので、よろしくご協力ください。

募 集

「出逢い&ふれあいの会」

参加者募集

パート2

「大自然&ホットな出逢いを満喫!」

「出逢い&ふれあいの会」は、はじめに将来のことを考えている男性、女性のための会です。2回目となる今回は、自然の美しい空気とバーベキューを味わいながらのふれあいパーティーを行います。

●日時 10月21日(土)

●場所 鮫川村「鹿角平観光牧場」

●対象者 白河市、西白河郡内に居住する独身の男女。女性については他地域からの参加も可。

●募集人数 男女各50名(先着順)

●募集期間

9月11日(月)～10月6日(金)

●参加費 男性 3,000円

女性 2,000円

■参加申込先・申込方法

事務局(白河市表郷庁舎総務課)

☎32-2111

ℱ32-2234

✉om-somu@city.shirakawa.

fukushima.jp

※右記の方法により、氏名、住所、電話番号、性別等をお知らせください。

■問合せ

事務局(白河市表郷庁舎総務課)

☎32-2111

西郷村企画調整課

第16回西の郷ロードレース大会

●開催日時 10月22日(日) 雨天決行

7時45分～8時30分 受付

8時30分～開会式

※スタート時間は種目によって異なります、詳しい内容は問合せてください。

●スタート・ゴール 西郷村民野球場

●参加費

・親子 2,500円

・一般 2,000円

・高校生 1,000円

・中学生 700円

・小学生 500円

●参加資格 健康で完走できる方

●申込方法 申込用紙に必要事項を記入の上、参加料を添えてお近くの郵便局又は現金書留によりお申込み下さい。

●申込締切 9月15日(金)

※年齢基準日は10月22日(日)

但し、小学生・中学生・高校生は学年を記入して下さい。

■問合せ 生涯学習課(体育振興係)

サッカー日本代表OBがやってくる!

「ドリーム・サッカー」開催

宝くじの普及広報事業として、宝くじスポーツフェア「ドリーム・サッカー」が開催されます。多彩なイベントが開催されますので、ぜひ皆さんご来場ください。

なお、入場は無料ですが、入場整理券が必要です。詳しくは左記まで問合せください。

●期日 9月18日(月) 敬老の日

●会場 Jヴィレッジスタジアム他

■問合せ

榎葉町企画課

☎0240-25-2111

福島県地域政策グループ

☎024-521-7119

県立高等技術専門校学生募集

県立高等技術専門校(愛称テクノカレッジ)では平成19年度の学

生募集を行います。

高等学校を卒業した方を対象に2年間のカリキュラムにより、県内の各企業が求めている実践的な知識と技能を学生に付与し、21世紀の産業界を担うスペシャリストを育てることを目的としています。詳細については、各テクノカレッジへ問合せ下さい。

■問合せ

テクノカレッジ郡山

☎024-944-1663

テクノカレッジ会津

☎0241-27-3221

テクノカレッジ浜

☎0244-26-1555

善意

ありがとうございます。

◎西郷村に寄付された方々をご紹介します。

▼佐藤善吉さん

【鶴生】

(7月31日、故姉佐藤キン氏の遺志による西郷村社会福祉事業のために) 一〇〇、〇〇〇円

行事

2006 年 9 月
September

カレンダー

●今月の顔

1 歳 6 ヶ月児健康診査 (8/4)

に来ていた子どもたちです。

日	月	火	水	木	金	土
					1 検診結果説明会 (9:30・13:30 保健 福祉センター) 西 郷健康ウォーキン グクラブ (10:00 保健福祉セン ター)	2 ふるさと探検隊 (7:00 甲子トンネ ル及び下郷町)
3 さわやか直売所 (9:30 折口原農協 精米所前) 子どもの 安全見守り隊一 斉活動日 (終日 村内)	4 検診結果説明会 (9:30・13:30 保健 福祉センター)	5 12～13ヶ月児健 康相談 (9:30 保健 福祉センター) 赤 ちゃんの子育て講 座 (13:30 保健福 祉センター) 西郷 村敬老会 (10:00 村民体育館)	6 子宮がん検診 (9:30・13:00 保健 福祉センター)	7 	8 子宮がん検診 (9:30・13:00 保健 福祉センター)	9 
10 さわやか直売所 (9:30 折口原農協 精米所前) 西白 6村親善野球大会 開会式 (7:45 村民 野球場)	11 母子手帳交付日・ 健康相談 (13:00 保健福祉センタ ー) 心配ごと相談 会 (13:00 高齢者 生活支援センタ ー)	12 検診結果説明会 (9:30・13:30 保健 福祉センター)	13 検診結果説明会 (9:30・13:30 保健 福祉センター)	14 おひざにだっこ お話会 (10:30 文 化センター) 老人 クラブゲートボ ール大会 (8:30 追原 ゲートボール場)	15 4ヶ月児健康診査 (13:00 保健福祉 センター) 西郷ウ ォーキングクラブ (10:00 保健福祉セ ンター)	16 みずほ保育園運動 会 (8:30 みずほ保 育園園庭 雨天時 村民体育館)
17 さわやか直売所 (9:30 折口原農協 精米所前) まき ば保育園運動会 (9:00 まきば保 育園園庭 雨天時 村民体育館)	18 敬老の日 	19 	20 寿学級 (10:00 ア クティブセンタ ー)	21 高齢者の男性の ための料理教室 (10:00 高齢者生 活支援センター)	22 	23 秋分の日 第35回村民登山 大会 (6:15 文化セ ンター駐車場)
24 さわやか直売所 (9:30 折口原農協 精米所前) 貫通記 念地域連携フォー ラム (13:00 国立 那須甲子青少年自 然の家)	25 母子手帳交付日・ 健康相談 (13:00 保健福祉センタ ー) 農業委員会9 月総会 (13:30 庁 舎前プレハブ会議 室)	26 ともだちひろば (10:40 小田倉児童 館)	27 歯科クリニック (幼児 13:00、6歳 13:45 保健福祉セ ンター)	28 個別健康教育 (7:30 保健福祉セ ンター)	29 配食サービス (8:30 保健福祉セ ンター) 個別健康 教育 (7:30 保健福 祉センター)	30 阿武隈サミット事 業・源流体験実施 (10:00 新甲子遊歩 道)

★県南地域の主な行事です (NPO 法人カルチャーネットワーク提供)

- ・9/3 あそびの学校南米の楽器「マトラカ」作り (ジャスコ白河西郷店 13:30)
- ・9/9 共和ドリーム祭 (白河駅前イベント広場 10:00)
- ・9/10 `06 下水道ふれあいプラザ (ヨークベニマル昭和町店頭 10:00)
- ・9/14 白河子ども劇場「火よう日のごちそうはひきがえる」
- 西郷村文化センター 18:30)
- ・9/16 第5回ひがし郷里マラソン (白河市東風の台運動公園スタート 9:30)
- ・9/16 甲子八十八滝探訪 (阿武隈川源流 9:30)
- ・9/17 白河市提灯まつり (鹿嶋神社・白河市街地 18:00)
- ・9/17 埴輪づくり (まほろん 10:00)

誌上天然色作品展

(村内の小・中学校の児童や生徒のみなさんの作品を紹介しています。)

図画

「熊倉小学校」



熊倉小学校五年
安部 涼香



担任の近藤邦弘先生から一言

いつも見ている校舎を別の見方で、きれいに描けています。つばみの桜が入っているところが、この絵の素敵なポイントです。

詩

「イネの親子」



熊倉小学校四年
吉成 光子

五月から始まったバケツイネ
太陽の光が当たり
ぐんぐん育って大きくなるね
なえが私に話しかけてくる
毎日のお世話ありがとう。
なんだかイネの親子みたい
これからも守ってあげるね
虫にも 風にも 病気にも

担任の藤田 真先生から一言

総合の学習で取り組んでいるバケツイネ。五月の種蒔き、六月の田植え、そして毎日の観察学習、そんな思いを詩に表しました。

書

「小」



熊倉小学校三年
大島 萌香



担当の小出文恵先生から一言

三年生になって毛筆を初め、筆を持つ手もさまになり、のびのびと書けるようになってきました。バランスに気をつけて書けました。